

会議等結果報告書

会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	上富子育第 1137 号
		決裁期日	令和 7 年 1 月 30 日
名 称	令和 6 年度 第 4 回子ども・子育て会議		
日 時	令和 7 年 1 月 30 日 (木) 13:30~14:10		
場 所	こどもセンター会議室		
出席者	子ども・子育て会議委員 11 名 (別紙名簿参照) 役場 保健福祉課 三好課長、武山主幹、末永主幹、白井主査、坂本主査、 後藤主査、木澤主事		
内 容	<p>・開会 (進行: 三好課長)</p> <p>1 委員長挨拶 ・松原委員長 (北海道科学大学保健医療学部看護学科教授) より挨拶。</p> <p>2 議題 (1) パブリックコメントの実施結果について (事務局説明) 事務局: パブリックコメントを R6.12.10~R7.1.9 の期間で実施したが、意見はなかったことを報告する。</p> <p>【質疑・応答 意見等】</p> <p>・松原委員長: パブリックコメントの周知はどのように行ったのか。 ・事務局: 町の広報誌、HP 掲載等で周知を行った。</p> <p>(2) こども計画について (事務局説明) 事務局: こども計画最終版を当日配布。P.19 中段、「こども家庭センター」設置一か所については、令和 7 年 4 月からの設置を目標として準備を行っている。詳細については、当日配布別紙「上富良野町こども家庭センターのイメージ」参照。 P.32 「子育て応援事業」については、前回の会議でゴミ袋配布に変わる事業の意見を伺っていたが、令和 7 年度からも事業内容は変わることなく実施をしていく。その他に 3 子目以上出産のご家庭に 5 万円の配布を令和 7 年度からの予算に算定。要綱の作成はこれからになるため、作成次第速やかに周知する。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>		

【質疑・応答 意見等】

- ・松原委員長：令和7年度設置予定のこども家庭センターに配置する統括支援員は母子保健機能（健康推進班）と児童福祉機能（子育て支援班）を歩き来することになるのか。
- ・事務局：統括支援員は子育て支援班に配置することとなる。こども家庭センターが設置される以前から母子保健と電話や文章、決裁等でやりとりを行っており、今後も継続して実施していくこととなる。

(3) その他

①次回会議の開催について

- ・パブリックコメントが0件だったことから、3月開催を予定していた第5回の子ども・子育て会議は中止とする。
次回開催予定は令和7年6月を予定。

②その他

- ・松原委員長：今回の会議をもって、令和6年度上富良野町子ども・子育て会議を終了させていただくことから、委員の皆様から一言ずつお言葉をいただきたい。
- ・豊田副委員長：この会議に出席するまでは、小学校6年間に関わる機会以外がなかったが、それ以前の子どもに関する様々な支援を知ることができた。これからも地域で子どもを育てる環境づくりを支援していきたいと思う。
- ・瀬下委員：保護者の立場として参加させていただいたが、この場に来ないと知らないような支援や事業の仕組み等を学ばせてもらった。この情報をもっと多くの保護者に周知してほしいと思う。
- ・加藤委員：自身に小学6年生と3年生の子どもがいることから、上富良野町の子育て支援が手厚いことがとても有難い。長男が中学校へ進学することから、これからの子育ての方向性に悩むが増えると思う。
- ・谷委員：3人の子どもがいる母親として、こどもセンターなど町の様々な子育て支援事業に参加させてもらった。昔から今現在も子育て支援が充実していることがとても有難い。
- ・増田委員：上富良野町こども計画の策定に関わることで、町の子育て支援事業を知ることができた。園へ通う保護者の皆さんへ周知できるよう支援を続けていきたい。
- ・伊藤委員：会議に参加することで、アンケート内容や保護者のニーズ等知ることができ、町の手厚い子育て支援を感じることでできた。新しく策定されるこども計画を多くの方に周知していくことがこども園としての使命だと思うので、支援を続けていきたい。

内 容

- ・ 広瀬委員：こどもの子育て状況等を周知できる場に参加できたことがとても良い機会となった。小人数グループで話し合いができる機会なども設けていただき、話しやすい環境で協議ができたのが良かった。
- ・ 高松委員：会議に参加できないことも多かったが、行政職員としてこども計画の策定に携われたことは実りのある機会となった。これからも教育委員会として保健福祉課と協力しながら支援を続けていきたい。
- ・ 藤澤委員：保護者の意見を聞くことができ、とても有意義な会議に出席することができた。今後も民生委員として、こどもの育ちを支援する活動を続けていきたい。
- ・ 平山委員：今年度初めてこのような会議に出席し、様々な町の子育て支援事業を知ることができた。まだ自身のこどもも若いことから、今後の上富良野町の子育て支援がより良い方向へ向かっていったほしい。

閉会

内 容